

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2007-222590

(P2007-222590A)

(43) 公開日 平成19年9月6日(2007.9.6)

(51) Int. Cl.	F I	テーマコード (参考)
A 6 1 G 5/00 (2006.01)	A 6 1 G 5/00 5 0 3	3 B 0 8 4
A 4 7 C 7/62 (2006.01)	A 4 7 C 7/62 A	
A 4 7 C 7/38 (2006.01)	A 4 7 C 7/38	
	A 4 7 C 7/62 Z	

審査請求 有 請求項の数 2 書面 (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願2006-102457 (P2006-102457)
 (22) 出願日 平成18年2月22日 (2006.2.22)

(71) 出願人 304038437
 丸山 益雄
 千葉県木更津市朝日2-8-19
 (72) 発明者 丸山 益雄
 千葉県木更津市朝日2-8-19
 Fターム(参考) 3B084 DB01 JA03 JA07 JA08 JB04
 JC12

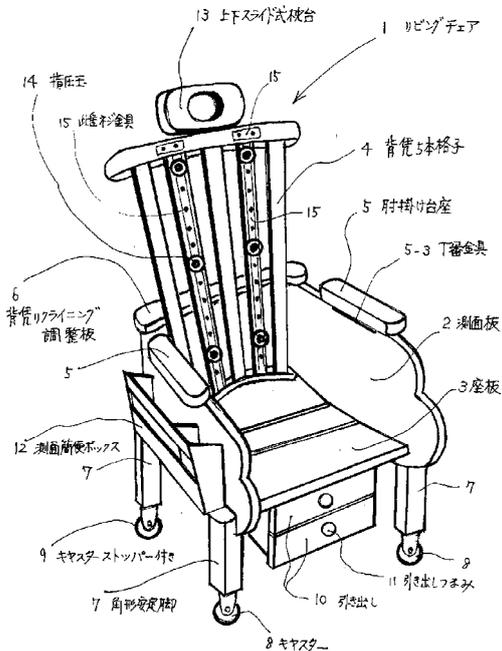
(54) 【発明の名称】 リビングチェア

(57) 【要約】

【課題】座り心地とデザインが重視され、企業の大量生産による、利益優先思考が、生活者の実用性、利便性、健康に目を向けたものがなかったため、熟年者高齢者身障者に、これぞ至便というものがなかったため、リビングでより豊かな生活を楽しめるリビングチェアを提供する。

【解決手段】豊かな生活場の中心である、日常のリビングの椅子を、実用性、利便性、健康的も、座り心地デザインに増して重視し大企業の大量生産による製法だけに目を向けず、人間の心が伝わる職人の手造り工法でも、文明社会に貢献出来るよう天然木材での生産の創作思考で、特徴が光るリビングチェア椅子である。

【選択図】 図 1



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

- (イ) 椅子に引き出しを設ける。
- (ロ) 椅子の側面にボックスを設ける。
- (ハ) 椅子の背凭れに、スライド式枕台を設ける。

【請求項 2】

- (イ) 椅子の背凭れに、腰背中、首筋を指圧出来る指圧玉をとめる金具を設ける。
- (ロ) その金具に、指圧玉をつけ、はずし出来る大小の指圧玉をセットするよう構成するもの。

以上の構成が特徴のリビングチェア

10

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は家庭のリビングで豊かな暮らしを楽しむ生活の椅子で、熟年者高齢者の足腰体の不自由な人には、特に至便なリビングチェアに関するものである。

【背景技術】

【0002】

従来のリビングダイニング椅子は、腰かけが目的で座り心地とデザインと面白さが重視され、便利さを重視されたものがなかった。

熟年者高齢者の足腰手体の不自由な人に気配りされた便利な構造のものがなかった。

20

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0003】

そのため次のような問題点があった。

足腰体の不自由な熟年者や身障者が、椅子から離れた位置の物を求めるのに苦労していた。

【課題を解決するための手段】

【0004】

日常目の届く所手元に置きたい健康薬品、その他小物入れ用の引き出しを、手の届く椅子の下に設け、手元があれば便利な生活用品を収納するボックスを椅子の両側面に設ける。椅子の背凭れを、体の指圧健康にも役立てるように指圧玉が自分で手軽にセット出来るリクライニングも出来るリビングチェア。

30

【発明の効果】

【0005】

本発明は足腰体の不自由な熟年者、高齢者、身障者が、リビングで豊かな生活を楽しむために、椅子を座り心地重視、面白さデザイン優先の従来椅子と違い、便利さと健康重視の発想から創作したので、健康な合理主義の人々にも受け入れられる至便なリビングチェアと成る。

【発明を実施するための最良の形態】

【0006】

以下本発明の実施の形態について説明する

40

- (イ) リビングチェア(1)の座板(3)の下に引き出し(10)を設ける。
- (ロ) 左右の測面板(2)に測面簡便ボックス(12)を左右に設ける。
- (ハ) 肘掛け台座(5)は折り上げ出来るT番金具(5₃)を設ける。
台座はティッシュペーパー箱の出し入れ容易にするため固定せず、台座止め磁石(5₂)を設ける。
- (ニ) 背凭5本格子(4)は背凭リクライニング調整板(6)を設ける。
- (ホ) 背凭5本格子(4)の2本には雌ネジ金具(15)を多数設け、指圧玉(14)を好みの位置にネジ込み止め出来るようにする。
- (ヘ) 上下スライド式枕台(13)は、スライド溝付き板(13₂)と連係に構成しスライド止め玉(13₃)を設け、背凭5本格子(4)にネジ締めする止め玉キャッチ(

50

13.4) を設ける。上下スライド式枕台(13)を支える支え金板(13.5)を設ける。

(ト)座板(3)と背凭5本格子(4)連係はT番(6.3)を設ける。

(チ)背凭リクライニング調整板(6)は、180度回転折れするT番(6.2)を設ける。

(リ)角形安定脚(7)は測面板(2)にボルト止め構成とする。その脚下にはキャスター(8)とキャスターストッパー付き(9)を設ける。

(ヌ)指圧玉(14)は付属品として大中小セットに設け、引き出し(10)に、ケースに納めて収納する。

本発明は以上のような構造工法で構成したもので使用する時は、背凭5本格子(4)を固定した角度を、背凭リクライニング調整板(6)で角度切り替えが出来る。 10

体調により自分で指圧玉(14)を好みの場所位置に止めつけて、テレビを見ながら指圧療法が気持ちよく出来る。

測面簡便ボックス(12)はリビングでの生活にかかせない新聞、雑誌、ティシュペーパー、テレビエアコンのリモコン、老眼鏡、携帯電話などを収納すると至便である。

引き出し(10)は医薬品他小物入れとして使用する。

椅子の動きを止めたい時は、キャスターストッパー付(9)で止める。

その他好みの座ぶとんを座板(3)に敷く。

【図面の簡単な説明】

【0007】

【図1】本発明の斜視図

【図2】本発明の後方を示す斜視図

【図3】本発明の側面を示す斜視図

【図4】本発明の分離品の斜視図

【図5】本発明の分離品の正面図

【図6】本発明の分離品の側面を示す断面図

【図7】本発明の分離品の斜視図

【図8】本発明の分離品の平面図

【図9】本発明の分離品の斜視図

【図10】本発明の分離品の大中小の斜視図 30

【図11】本発明の分離品の斜視図

【図12】本発明の分離品の斜視図

【図13】本発明の分離品の平面図

【図14】本発明の分離品の平面図

【図15】本発明の肘掛け台の構成を示す断面略図

【図16】本発明の肘掛け台座半回転を示す断面略図

【符号の説明】

【0008】

1 リビングチェア

2 測面板 40

3 座板

4 背凭5本格子

5 肘掛け台座

5.2 台座止め磁石

5.3 T番金具

6 背凭リクライニング調整板

6.2 T番

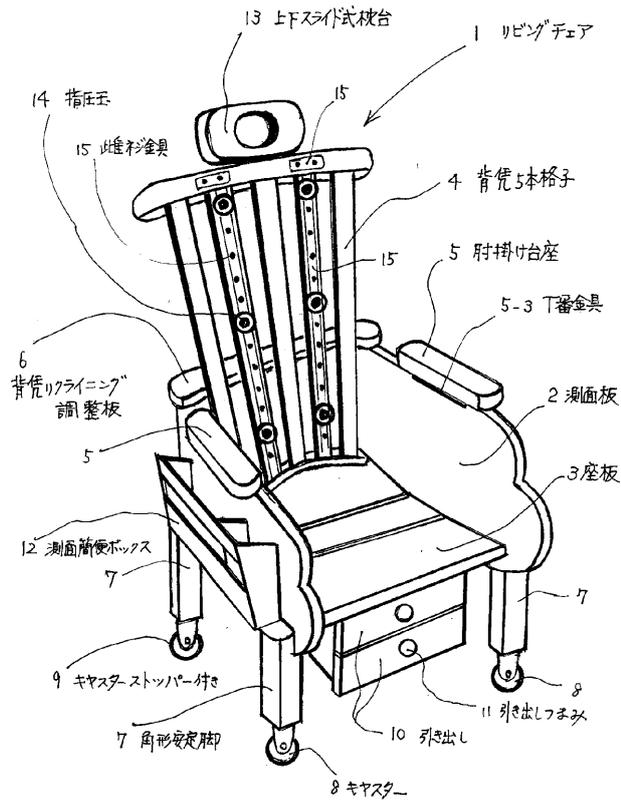
6.3 T番

7 角形安定脚

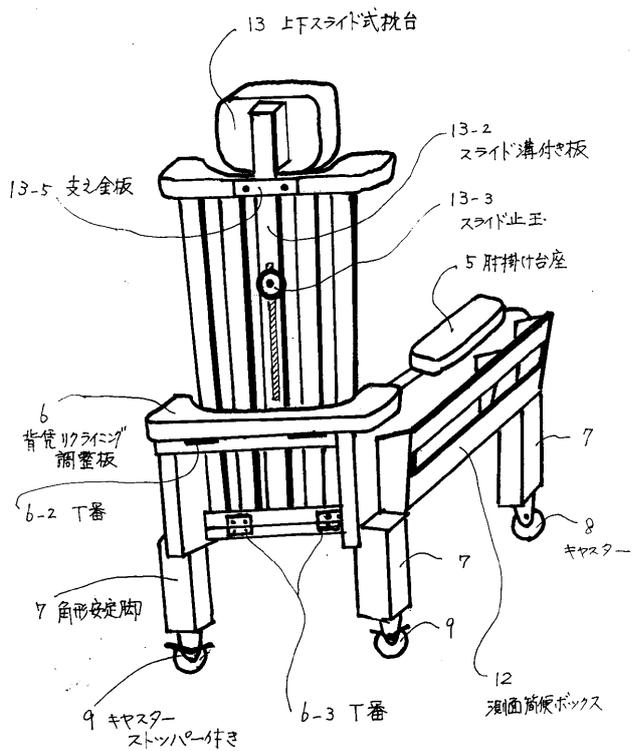
8 キャスター 50

- 9 キャスターストッパー付き
- 10 引き出し
- 11 引き出しつまみ
- 12 測面簡便ボックス
- 13 上下スライド式枕台
- 13-2 スライド溝付き板
- 13-3 スライド止玉
- 13-4 止め玉キャッチ
- 13-5 支え金板
- 14 指圧玉
- 15 雌ネジ金具

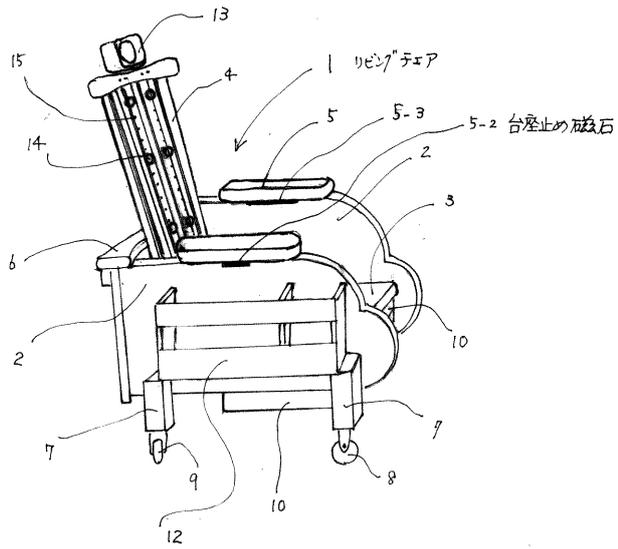
【 図 1 】



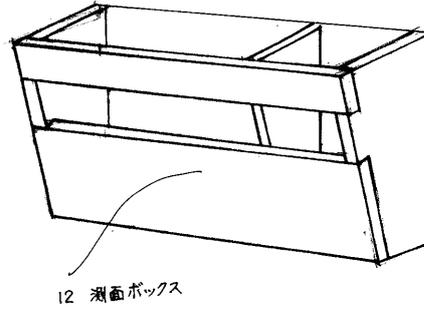
【 図 2 】



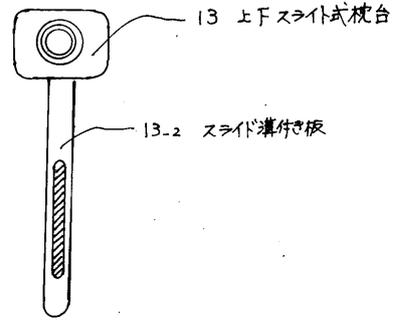
【図3】



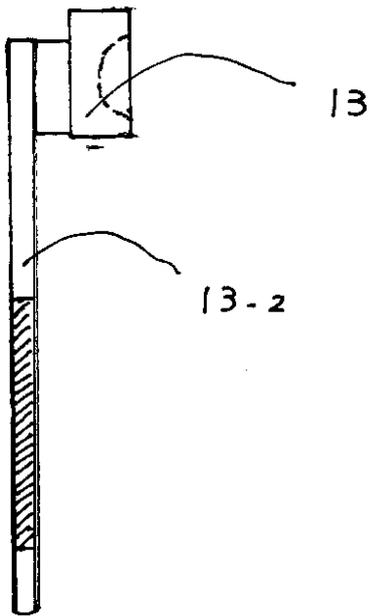
【図4】



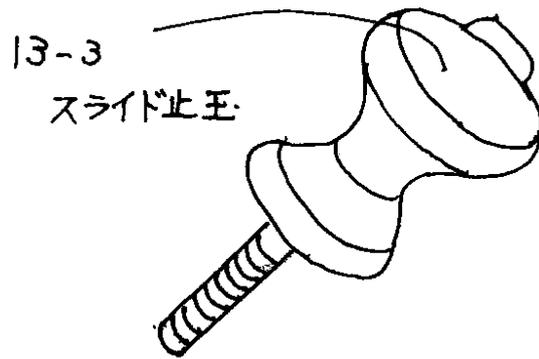
【図5】



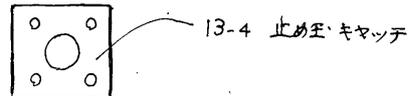
【図6】



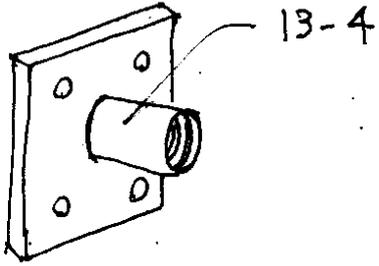
【図7】



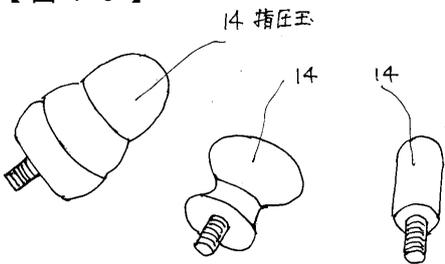
【図8】



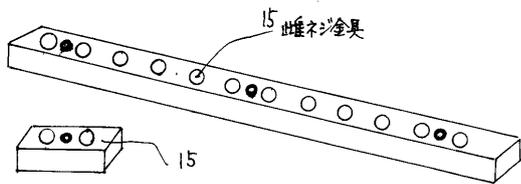
【図9】



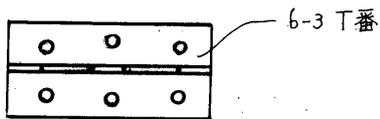
【図10】



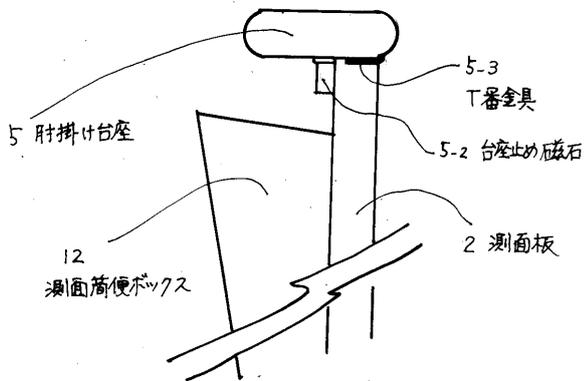
【図11】



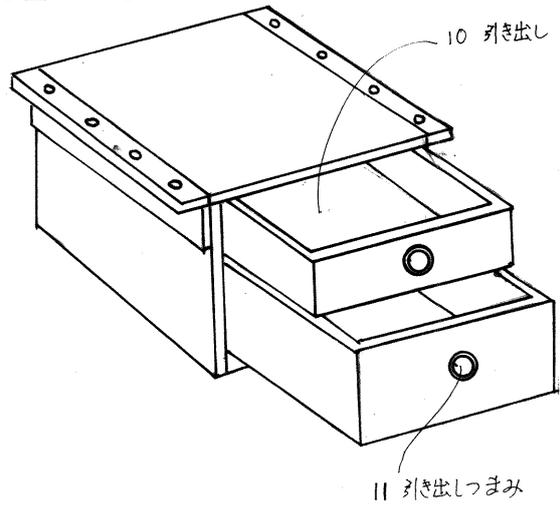
【図14】



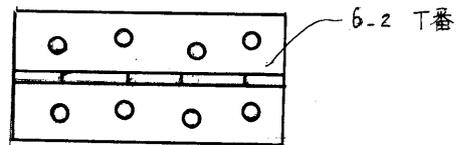
【図15】



【図12】



【図13】



【図16】

